不退転

第139号
東江中学校
校長　神元 勉

創作ストーリー金賞作品

■田中　梨依乃（3年2組）

『あらしの夜の初恋』

日が昇るよりずっと先にヤギは一匹の仲間を連れてこやの前にやって来た。

そう。ヤギはあらしの夜から相手がオオカミだということを気づいていたのだ。そこでヤギは、オオカミと待ち合わせている昼よりずっと早くにアメリカバイソンの親友を誘って自分になりすましてほしいと頼んでいたのだ。

そして、とうとう丘の向こうからオオカミが姿を現した。アメリカバイソンは、ヤギから聞いていた「あらしの夜に」とオオカミにあいさつをしたが、なぜか帰ろうとするオオカミ。

あわてたアメリカバイソンは、「昨日のあらしのとき、小屋で出会ったものです。」と付け加えたが、悲しそうな顔をしたオオカミはアメリカバイソンに「おいらは昨日の夜の相手がヤギだったことぐらい知ってるでやんす。それでも、あのヤギに一目惚れしたから、守ってやりたくて、他のオオカミに食われるなんてことになってほしくなかったんでやんす。」と言ったのだった。

流石に各学年の金賞に選ばれた創作ストーリーです。実に創造性豊かで、ユニークな発想に、感心しました。将来、作家が誕生するかも…!!

三者面談は積極的に

長い二学期も残り2週間となり、12日(火)から15日(金)まで、三者面談が行われます。

三者面談は「先生の話を聞きに行く場」ではなく、「こちらの考えを理解していただく場」ととらえ、受け身でなく積極的な姿勢で臨むことが大事です。特に、最終進路決定を控える3年生にとって大事なのは、志望校について親子でよく話し合っておくことです。そして、面談の際は、積極的に志望校の情報を収集したり、今後について、担任とじっくり相談してください。

親子の意見が割れて、担任の前で親子ケンカになってしまうことは、避けたいものです。

おめでとう!やったね!

■国頭地区新人ソフトテニス大会(10日)
女子団体　3位
女子個人　3位　上地 さわ・上地 愛沙

沖縄タイムス 2017年12月9日

ぼくも 私も
人権意識して行動したい

知名　凛桜＝中1

私たちは、国立療養所沖縄愛楽園で多くのことを学びました。

金城雅春さんの講話では、ハンセン病問題の歴史や見た目の違いによる差別があったことを話してくれました。

私は愛楽園の存在もハンセン病のことも知らなくて、ハンセン病の患者の方々がどれだけ苦しんできたかを考えるだけで、胸が苦しくなりました。

ハンセン病は、感染力が弱く、園内で働いている人で、ハンセン病になったことは一度もないということでした。

普通に生活していて感染する可能性はほぼないのに、強制的に家族と離され、愛楽園に入れられた人も多くいることを聞き、信じられませんでした。見た目の違いがあっても、みんな同じ人間で、この地球に暮らす仲間です。

人権とは、決して奪うことがあってはいけない大切なものだと、改めて気づくことができました。愛楽園に行かなければ、ハンセン病患者の苦しみについて、知ることはできなかったと思います。

過去は変えることはできませんが、私たちは未来を変えることはできます。私たちがすべての人の人権を大切にする世界を築いていけばいいのです。そのために私は、人権を意識して行動していきたいです。

愛楽園の皆さん、ありがとうございました。

（名護市、東江中）